

オオムギ赤かび病の2回目防除をしましょう！

赤かび病はムギの開花時期に気温が高く雨が降ると多発します。今年の予報では、開花時期の気温は高く、降水量は多い予想で赤かび病多発の恐れがあります。また、今年は4月上旬の寒さで開花が予想よりもやや遅れ、1回目の防除が適期とずれている可能性があります。

1 防除について

- 赤かび胞子は花のおしべに付着し感染するので開花時の防除が重要です。
- 六条大麦は麦類の中でも赤かび病に弱く、2回目防除は必須です。

※防除時期は
1回目防除の7～10日後です。

- 感染後は効果が落ちます。
- 液剤のほうが粉剤より効果が高くなり、耐雨性も優れます。
- 液剤は10a当たり100L散布します（無人ヘリ散布を除く）。粉剤は穂が濡れている早朝に散布すると効果が高くなります。



農薬の飛散に注意しましょう

農薬の安全使用に努めて適期防除しよう

2 防除薬剤

薬剤名	登録作物	希釈倍率	使用量	使用時期	使用回数	散布方法
トップジンM粉剤DL	麦類（小麦を除く）		4kg/10a	収穫14日前まで	3回以内 (出穂期以降は1回以内)	散布
トップジンM水和剤		1000～1500倍	60～150L/10a	収穫30日前まで		散布
トップジンMゾル		8倍	0.8L/10a	収穫21日前まで		無人航空機による散布
トリフミン水和剤	麦類	1000～2000倍	60～150L/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布
ストロビーフロアブル	麦類（小麦を除く）	2000～3000倍	60～150L/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布
チルト乳剤25	大麦	1000～2000倍	60～150L/10a	収穫21日前まで	1回以内	散布
		8倍	800ml/10a	収穫21日前まで	1回以内	無人ヘリコプターによる散布
ワークアップ粉剤DL	麦類		3kg/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布
ワークアップフロアブル	大麦	10～16倍	0.8L/10a	収穫7日前まで	3回以内	無人ヘリコプターによる散布
シルバキュアフロアブル	大麦	2000倍	60～150L/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布
		16倍	0.8L/10a	収穫14日前まで	2回以内	無人ヘリコプターによる散布

☆最新の農薬登録情報(<http://www.acis.famic.go.jp/search/vt1lp301.jsp>)を確認して下さい。